

図書館システムの仕様

プログラムの仕様

このプログラムでは、蔵書の一覧表示、追加、削除ができるようになっている。
プログラムを実行すると、一覧、追加、削除、終了のコマンドが表示され、そのコマンドに対応する数字を入力すると対応した機能を実行する仕様になっている。

蔵書のデータは、ブック ID、タイトル、著者、翻訳者、出版社、出版日、コード、備考、キーワード、登録者 ID、登録日の情報が登録されている。
ブック ID は追加コマンドを実行した際にプログラム側が自動で乱数を作成し、登録日もプログラムが自動で取得しその蔵書のデータの中に自動的に格納される。
蔵書は、ブック ID により管理されており、ブック ID はほかの蔵書とかぶることがない唯一のものになっている。

各コマンド実行時の挙動

一覧コマンドを実行すると、プログラムがデータベースにアクセスし、データベースに登録されている蔵書のデータをすべて取得し一覧表示する。

追加コマンドを実行すると、蔵書のデータを入力するフォームが出てくるので、それにしたがって各データを登録者が入力すると、データベースに記録されるようになっている。

削除コマンドを実行すると、キーワードの入力するフォームが出てくるので、そこに入力したキーワードをもとに、データベース側にアクセスし該当の蔵書があるかを検索する。該当の書籍があった場合それが表示されるので、その蔵書が削除したいものだった場合、削除を実行しデータベースから消去する。削除したくないものや、さらに絞り込みたい場合は、続けてキーワードで絞り込んだり、削除コマンドを終了できる。

終了コマンドを実行すると、プログラムが終了する。